

ひとつづくり委員会 基本方針（案）

副理事長 小林 伸生

ひとつづくり委員会 委員長 米本 真太郎

私たちは将来に渡り広域的なサイクリング事業を実施するため、近隣LOMとのつながりを昨年より構築し、私たち会員同士も県境を超えた良好な地域環境を確立する必要があります。また人々の価値観や生活様式が多様化しており、自分たちの地域の魅力に気づかない青少年の数も年々増加しているため、青少年には人との交流の大切さと社会的な視野を広げて、記憶に残ることも踏まえた青少年育成につながる事業の構築が必要不可欠です。

まずは、私たち自身が近隣LOMとのつながりの重要性を再認識し、昨年に行った淡路青年会議所と東かがわ青年会議所と協力の上例会を構築し、近隣LOMとの新たな組織体制と運動方針を理解し、各々の想いや決意を共有して将来を見据えた機会を設えることで、今後のサイクリング事業達成に向かっての一步をLOM全体で取り組みます。そして、青少年たちが成長し自己実現するために必要な環境づくりを進めるとともに、若者たちの夢を応援し力強い未来の担い手となるために、例年行っている青少年事業「ULTIMATE FESTA」を継続いたします。さらに、青少年たちは私たちの活動を通して精神力の向上や協調性につながる自らの能力を高め幅広い視点を得ていただき、事業を通じた活動は彼らが将来にわたり主体的に社会に貢献していくための基盤を築くことができます。また、人との縁を青少年たちに伝えることによって、より求心力と使命感をもち率先して行動できる人材へと成長するため、多くの人が集まり人の輪がつながる楽しさや大切さを体感できる機会を創出し、青少年たちが未来に向けて輝くことのできる事業を実施します。

以上の運動を通じて、周辺地域でのLOMの関係性を強化して、ひとを思い行動を起こす青少年の姿が周囲の意識を変え、思いやりの気持ちが人々に伝わります。共に成長を喜び合える意識を向上させ、私たちが活動していく中で人々の新たなつながりをつくります。

SDGs 4、11、17

【事業計画】

1. 5月将来に向けた近隣LOMとの例会の企画・設営
2. 10月ひとつづくり事業の企画・設営